

平成 28 年 2 月

立春や寝ていた春の起きあがる
春眠の季語立春の後を追ひ
利き耳は左右のいずれ春の雷
梅園へ大矢印に案内さる
ふたつ割りされて滴る林檎の香
末黒野や事故現場にはあらざるも
招きつつ逃げるは無礼汐まねき
失恋の味とほめられ落の臺
チョコを出す恋仲をバレタイン
文春に仕掛けられたる春の罨